



# 松ヶ崎だよい

## ～学校評価特集号～

京都市左京区松ヶ崎堀町40

TEL. 075(781)3380 FAX. 075(781)3252  
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>

### 家庭数分布

平成30年3月20日  
 京都市立松ヶ崎小学校  
 校長 北川 知世

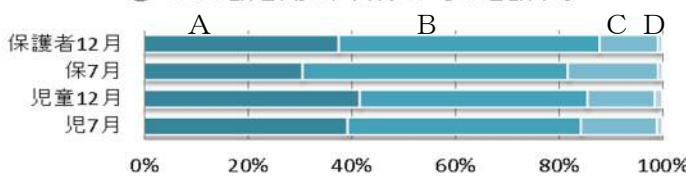


12月に後期の学校評価を実施しましたところ、257通（約80%）のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。私たちは、保護者の皆様から頂きました学校評価と児童のアンケートを通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒によりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は12月の結果をお伝えするとともに、7月の結果との比較から見えてくる課題を明らかにし、今後の取組に生かしていきたいと思います。

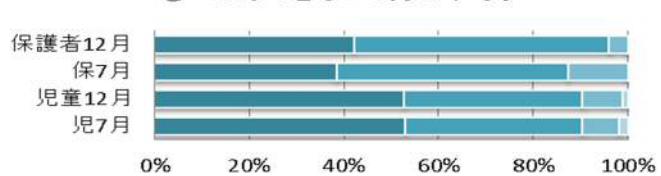
### 学校での様子

(A…よくできている、B…大体できている、C…あまりできていない、D…できていない)

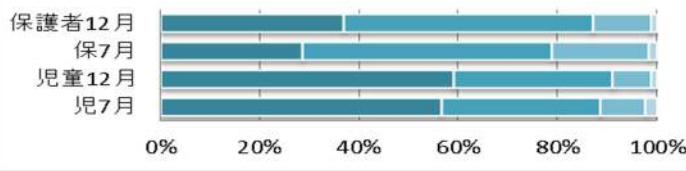
#### ① 人の話を聞き、自分の考えを話す。



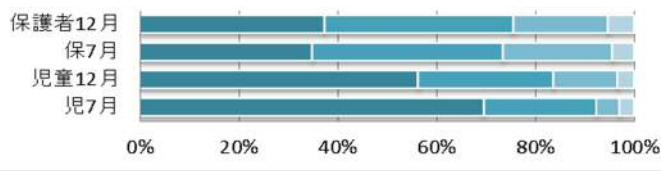
#### ② めあてをもって努力する。



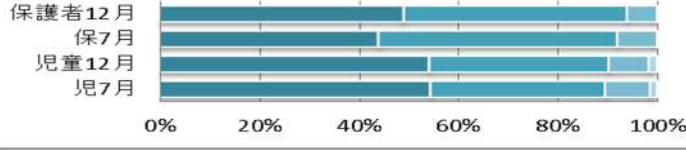
#### ③ 分かるまで学習に取り組む。



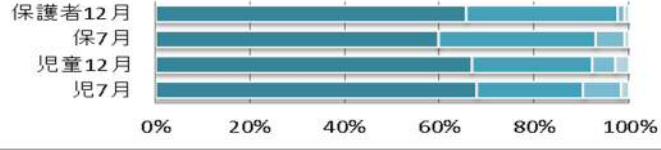
#### ④ 読書習慣(朝読書など)。



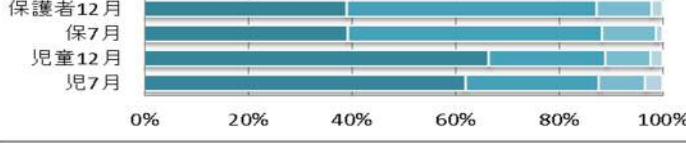
#### ⑤ 自分や人を大切にする気持ち。



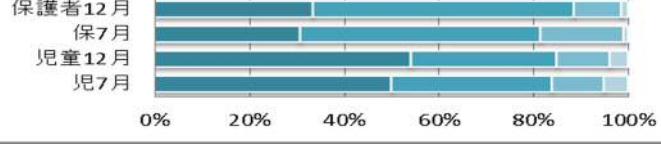
#### ⑥ 学校が楽しい。



#### ⑦ 宿題等、家庭での学習。



#### ⑧ 学習の準備(忘れ物など)。

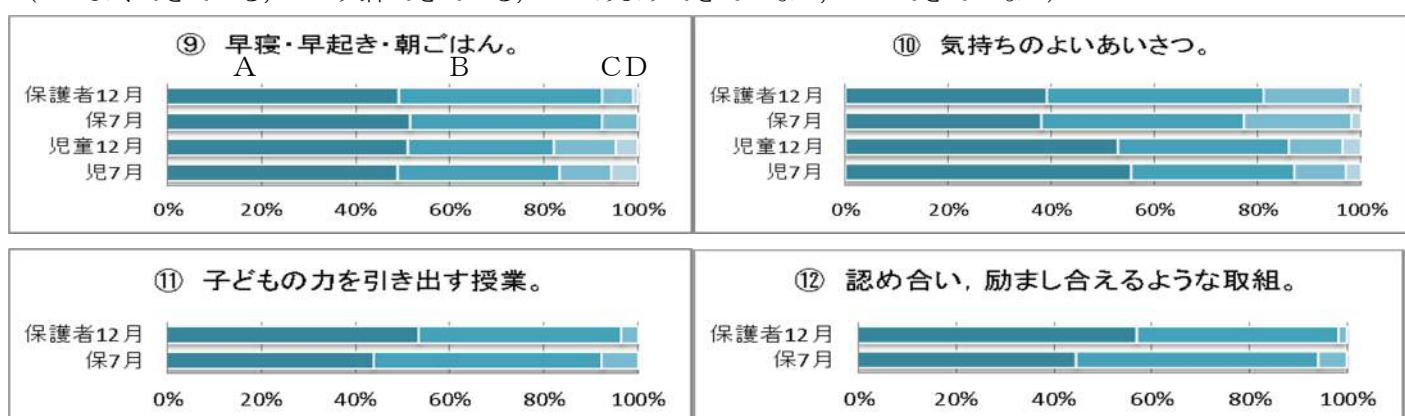


◇ ①②③の「話す・聞く」「めあてをもって努力」「分かるまで学習に取り組む」のA Bの割合が7月に比べて増えています。話を聞く時は必ず話し手へ体を向けることや聞き手の態度が整うまで話を始めないことなど学習規律の徹底によると考えられます。しっかりと聞くことで、自分のめあてをしっかり持つことができます。自分のめあてとして取り組むとやらされる学習でなく自発的主体的学習になるので、学習をやりきろうとすることにつながります。朝学習の時に、何をどのようすればいいのかが分かるようになっていて、すぐに自分で始められるように用意してあると児童はめあてをもって、やりきろうとします。45分の授業につきましても、同じことで、児童が何をするのか、どのようにするのかが分かり、どのようになければいいのかの認識をしっかりと持てるよう準備を進めておくことで①②③の向上につながると考えられます。学年差、児童個々による違いもありますが、やるべきことを確実に自分でできるようにすることに重きを置いていたり、児童が話したくなるような進め方を工夫したりして進めています。学校では、毎時間、見通しを持って学習を進められるよう「めあて」を明確にして進めて、1時間の終わりには、振り返りができるようにしています。しかし、いつでも、どの学級でも同じようには、進められていません。日によって同じように調子よくいかないこともありますが、基本的な共通理解していることは、いつでも、どこの学級でもやろうとすることの徹底をして、授業改善につなげていきたいと思います。

- ◇ ④読書習慣について、保護者のAB評価は増えていますが、児童は減っています。意識して声かけを多くすることや読み聞かせをすること、読書100冊に向けての読書ノートの活用、学校司書と連携していくことなどをしていると児童の本の貸し出し数は増えています。教室の机の横に読みかけの本を袋に入れて、いつでも読めるように準備をしています。この本につきましても、どんどん読み進めていけるように、働きかけをしていきたいと思います。
- ◇ ⑤「自分や人を大切にする気持ち」のAB評価は増えています。友だちの良いところに目を向けるような取組をすると効果があります。友だちの良いところについての内容についても、親切にすることや思いやりの気持ちの分かる行為に目を向けることなど人を大切に思うものに着目させると良いと思われます。また、マイナスの発言については、見逃さず、言われた側の気持ち、自分ならどう感じるかなどを考えさせ、一緒に改善していくこうとするように働きかけていきたいと思います。
- ◇ ⑥A・B合わせた割合は児童・保護者とも増えています。しかし、⑥において、Dと回答した児童が僅かながらも増えたことは重く受け止めなければいけません。児童にヒヤリングを行うなど対策を講じ、全ての児童が「学校が楽しい。」と感じる学校づくりを進めていきたいと思います。
- ◇ ⑦宿題・家庭学習については、保護者の評価はあまり変化がありませんが、児童のAB評価は増えています。自分で、できていると思う児童が増えています。宿題や家庭学習につきましては、学校が方向付けをしたものを見られてることだと思います。自分から家庭学習を進めている姿を認めていくことやその姿を引き出すことで、児童のやる気につながると考えられます。うまく連携できますようよろしくお願ひいたします。
- ◇ ⑧学習準備は、7月に比べて、AB評価が増えています。児童だけの力で持ち物が揃っているだけでなく、家庭の力でそろっている場合もあり、家庭の力の大きさを感じます。必要であるとの認識を児童にしっかりとさせることや準備した活動の意義をしっかりと分かり、やりたい活動であると思うことで主体的な学習準備につながると考えられます。やりたい活動ばかりではなく、やらなければならない活動もありますが、やらなければならない活動を自分がすること、できることの価値についても考えさせていきたいと思います。

## 家庭・地域での様子

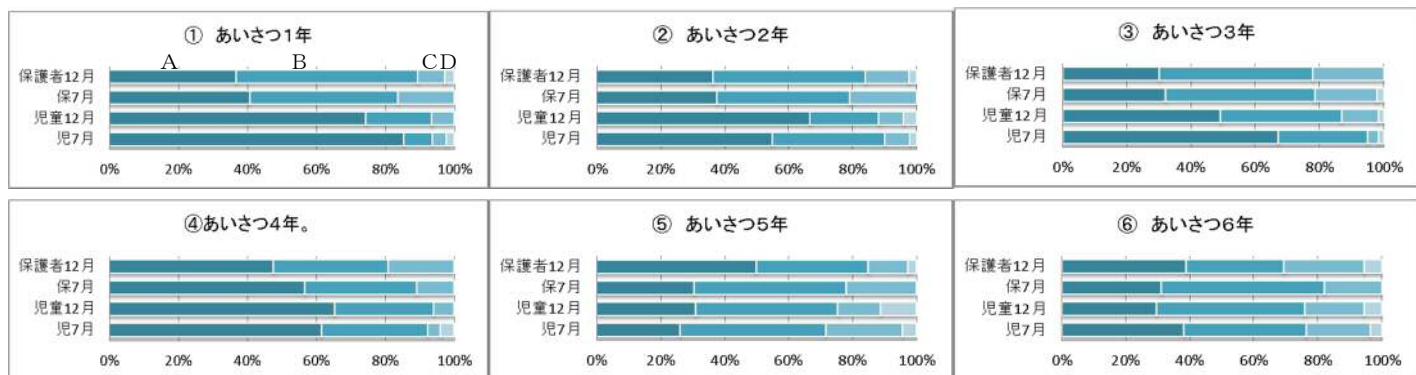
(A…よくできている、B…大体できている、C…あまりできていない、D…できていない)



- ◇ ⑨早寝・早起き・朝ごはんは、保護者、児童とも、評価が上がっているとも下がっているともいろいろに見えます。生活見直し週間の取組を活用していくとともに、もう少し回数を増やし、こまめに声をかけて、意識できるようにしていきたいと思います。ご家庭により生活リズムが様々だと思いますが、子どもの生活時間につきまして、より良いようにしようと取り組まれていることだと思います。さらにより良い方に進みますように連携よろしくお願ひいたします。
- ◇ ⑩保護者のAB評価は、増えています。児童のA評価は減っています。教職員から挨拶の声をかけることや児童の名前を呼びながら挨拶をすることをすすめきました。特に意識してすすめると児童から気持ちの良いあいさつをするようになったとの実感が持てるようです。保護者の方も児童と一緒に地域を歩かれる場面で、気持ちの良いあいさつをされていることだと思います。今後とも、学校、地域、保護者とも連携して、挨拶を広げていけますようよろしくお願ひいたします。
- ◇ ⑪AB評価が、増えています。7月に比べて、授業や指導についての改善をしようとしてきた結果としての児童の姿をご覧になられての評価を考えます。学校としてそろえて、進めていこうとすることは、徹底してできるようにしていきたいと思います。百人一首の取組については、学年により取組の度合いに差がありました。同じように、校内研修や校内研究で考えて進めていくものは、どの学年も同じように力を入れていきたいと思います。
- ◇ ⑫認め合い、励まし合いについてのAB評価は、7月に比べて増えています。友だちの頑張りやみんなのために行動したことにして目を向ける振り返りの実施や学習場面で協力すること、アドバイスを素直に受け入れていけるようにしていったことの効果と考えられます。教師が全て教えるのでなく、子どもたちが話し合ったり、教え合ったりするようにしてすすめ、その結果、児童のよい動きを見つけて認め合うことにつながるよう意識して進めていきたいです。

## 子どもたちの成長の過程を見る「あいさつ」

(A…よくできている, B…大体できている, C…あまりできていない, D…できていない)

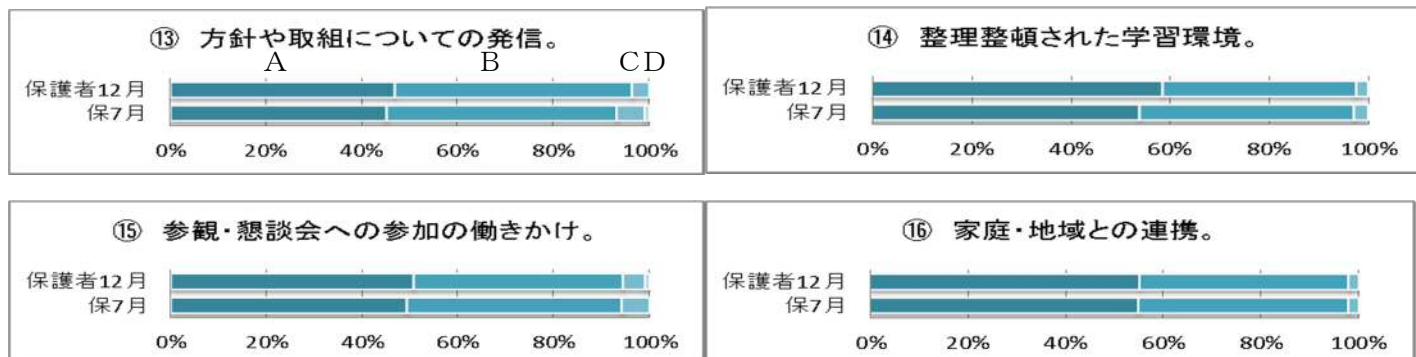


◇ 去年の〇年生と今年の〇年生との比較を前期では、挙げさせていただきました。同じ学年でも、年度が違うと児童が違ってきます。後期は、同じ児童の7月と12月の比較ができます。挨拶については、同じ年齢集団が次年度もどのように変わっていくかも見ていきたいと考えて、学年別の資料を作成しました。1年生の時の姿がどう変わっていくかを見ながら、指導に生かしていきたいと考えています。

できているという回答数は、下の学年ほど多いです。年齢が進むにつれて、挨拶のできている感が減っています。しかし、7月よりも12月の方が、できている感が多い学年もあります。前期の評価を受けて、挨拶についての意識付けを強くしたと思われます。指導や働きかけをすることで、改善していくと考えられますので、全校で同じように進め行きたいと思います。

## 学校の取組

(A…よくできている, B…大体できている, C…あまりできていない, D…できていない)



◇ ⑬方針・取組の発信のAB評価は増えています。は⑮参観・懇談会への参加働きかけは、少しA評価が増えています。保護者の方々が見てられるのは、家に帰っての子どもの姿です。自分から、宿題を進めていくことや学習の準備をしていく姿、挨拶をすることや親切にする生活の仕方等が育っている姿をご覧になられています。そこへ通信やホームページで取組の説明が入ってきます。ホームページの更新が進んでいるときとそうでないときがあります。行事だけでなく、普段の授業や学習の途中の様子などの写真を載せたりしてお伝えしていきたいと思います。実際に子どもの普段の学校での様子をよく見ていただけるように、自由参観の回数を増やしていきたいと思います。

◇ ⑭整理整頓された教育環境について、A評価が増えています。児童が安全に学校生活を送れるよう、環境整備に努めることは大変重要なことです。学校では、月に1回、全教職員で安全点検を行い、安全管理に留意しています。教室内の自分の物の管理など子どもが自分ですべきことが自分でできる力を育てていきたいと思います。また、環境の維持について、整理整頓され、安全に気持ちよく生活できることは大事なことであり、そのことを進めていける自分になりたいと思うように育てていきたいと思います。

◇ 本校の教育活動を進めるにあたり、学校運営協議会の「学び」「子ども安全」「読書」「広報」「放課後まなび教室」各企画推進委員会の皆様には、様々な形でご協力いただいています。また、PTAを始め、各団体の皆様にも様々な行事を主催していただいている。ありがとうございます。⑯「学校は、家庭や地域と積極的に連携して活動できていますか。」について、7月とほぼ同じで、AB合わせて、100%に近い値になっています。これまで以上に地域の行事等への理解を深め、可能な限り教職員が参加して交流を深められるようにし、「地域の子どもは、地域で育てる。」を保護者・地域・学校が協力して実践できるようにしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

《資料》「ご家庭で大切にされていること」29 ※上段低学年、下段高学年 H29. 7月と12月の選択率比較 (%)

	設問	7月	12月		設問	7月	12月		設問	7月	12月
1	⑥ 学習のことや学校での出来事について、子どもと一緒に話をしている。	73	81	6	⑫ 家庭では、子どものよさを認めて、ほめている。	60	74	11	⑪ 日頃の学習の様子について聞いている。	51	66
		79	61			70	53			63	48
2	⑬ 学校から配られるプリント(学校・学年・学級だより・HP等)は必ず見ている。	71	83	7	⑨ 基本的な生活リズムが身につくように条件を整え、家族で取り組んでいる。	66	69	12	⑤ 子どもにも家族の役割分担をさせている	44	53
		77	58			73	52			58	49
3	⑩ 家族は、自分から気持ちのよいあいさつをするようにしている。	72	76	8	⑭ 参観・懇談など、学校によく足を運んでいる。	65	70	13	⑯ PTA活動や地域の行事にできるだけ参加するようしている。	38	43
		79	61			61	46			49	30
4	① 子どもの話をしっかりとっている。	66	72	9	⑧ 忘れ物がないように、子ども自身が点検する習慣をつけていく。	53	67	14	④ 読書の時間を設けている。	28	33
		69	61			55	50			40	27
5	② 子どもが物事に最後まで取り組めるように励ましの声かけをしている。	59	72	10	⑦ 家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。	59	66				
		64	57			62	49				

※保護者アンケートで、○の回答が多かった順に並べ替えています。

学校評価アンケートでは、保護者の皆様より、

- 学校での子どもの様子を見て感じられる事や思ったこと
- ◆本校の教育活動全般にわたって、お気付きのこと

上記2点につきまして、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。

いただきましたご意見につきましては、教職員で共通理解し、具体的な取組を考え、実践してまいります。

#### ■学校での子どもの様子を見て感じられる事や思ったこと

- ・学校生活全般について「楽しく登校している」「元気にのびのびと学校生活を送っている」「他学年も含めて仲良くしている」「良いところを認めるなどしていただき自信をもって学校生活を送っている」等多数のお褒めのご意見をいただきました。ありがとうございます。
- ・児童の評価について分かりやすく伝えることについて  
評価の規準が共有できますように、指導のねらいと振り返りを明らかにして日々進められるようにするとともに通知票をお渡しするときに、懇談会を活用して説明していきたいと思います。
- ・授業中の姿勢をよくすること  
学習規律について、どの学級も同じように確実に定着できるように、校内で確認して進めていきたいと思います。
- ・授業時間の確保について。  
急に授業以外の事が起こることもありますが、授業時間の確保を特に意識して対応できるようにしていきたいと思います。

#### ◆本校の教育活動全般にわたってお気づきのこと

- ・地域の方々に教えていただいていることや大学連携、松ヶ崎の地域・自然を生かした取組についてについて  
「親子で参加できる取組もあるのが良い」「伝統的なことにふれられて良い」「山や自然、科学、農業、伝統文化等いろいろ活動できて楽しく思っている」等継続を期待されている意見を多数いただきました。
- ・参観日について  
自由参観の在り方については、全体的な日程等を考えて、参観していただきやすいように考えていきます。参観日のみでなく、いつでもお越しください。学校へ来られましたら、職員室へお声かけをしていただきますようお願いいたします。
- ・百人一首の取組について  
学年差等により、取り組み方に差が出てしました。どの学年も、取り組んでいることが伝わるようにしていきたいと思います。
- ・冬季に早く暗くなるときの児童の安全について  
外のトイレ入り口廊下の明かりを講堂使用責任者の管理で点灯・消灯していただきますように連絡しています。

※ 3月2日に開催されました学校運営協議会理事会で、「第2回学校評価結果」を報告し、理事の皆様より貴重なご意見をいただきました。コミュニティ・ニュースNo.8でお知らせしていますので、お読みください。